



▲コーヒーショップの座席シート

▲新幹線の座席シート

▲衆議院議場席のシート

全部、パイル織物なんです。

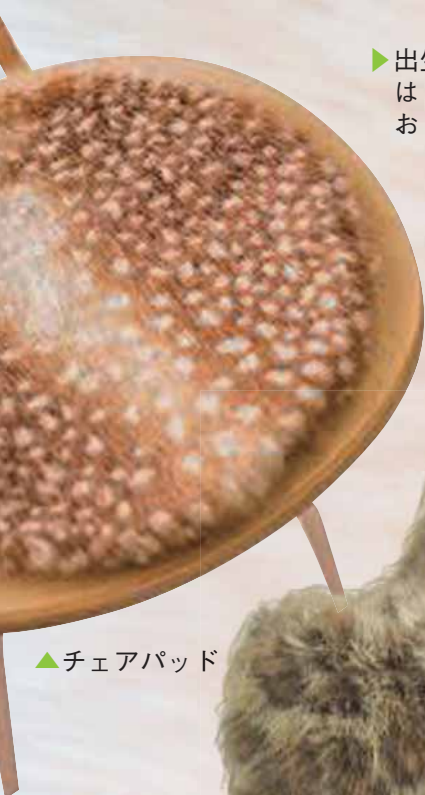
皆さんが普段使用したり、利用したりしているものの中には、『パイル織物』が素材として使われているものがたくさんあります。ここでは、形を変え、さまざまな分野で、そしてさまざまな用途として広く愛用されている高野口の『パイル織物』を紹介します。



▲再織のバッグ

▶ 出生記念品はしぼう柄のおくるみ

▶ 掃除機ヘッドのブラシ



▲チェアパッド



▶ エコファーのマフラー



▲ぬいぐるみ



▲スリッパ



▲化粧パフ



▶ 液晶パネルの製造工程で使われるラビングクロス



「エコファー」とは、ミンクやキツネなど本物の毛皮を再現したパイル織物の一種で、人工毛皮（フェイクファー）ともいわれています。材料には、化学繊維や綿などが用いられています。本物の毛皮に比べ、丈夫で安価な上に、手入れが楽なことから、衣料はもとよりバッグやカーペット、ぬいぐるみ、日用小物など多くの分野で利用されています。動物愛護の高まりなどから近年、ファッション業界の世界トップブランドが相次いで「本物の毛皮を使用しない」と表明したことにより、世界の800以上のブランドがエコファーの導入を進めているといわれており、「高野口のエコファー」が世界で注目されています。

世界で注目される「エコファー」



世界的にも珍しいこの特殊織物は、表裏のない美しい表情を持った製品に仕上がりに、独特の肌触りと風合いがあり、吸水性にも優れています。ハンカチ・バッグ・ポーチなどのファッション小物や、クッション・マットなどのインテリア製品、エプロン・スリッパなどの水回り製品などに使用されています。

一度織り上げた生地を縦糸に沿って糸状に裁断しモールドの糸に仕上げ、そのモールド糸を今度は横糸に使用し、再び織り上げることから、「再織」と呼ばれています。世界的にも珍しいこの特殊織物は、表裏のない美しい表情を持った製品に仕上がりに、独特の肌触りと風合いがあり、吸水性にも優れています。ハンカチ・バッグ・ポーチなどのファッション小物や、クッション・マットなどのインテリア製品、エプロン・スリッパなどの水回り製品などに使用されています。

伝統工芸「再織」